



とだっ子 やり抜く力で 未来に夢を

埼玉県学力・学習状況調査の活用について

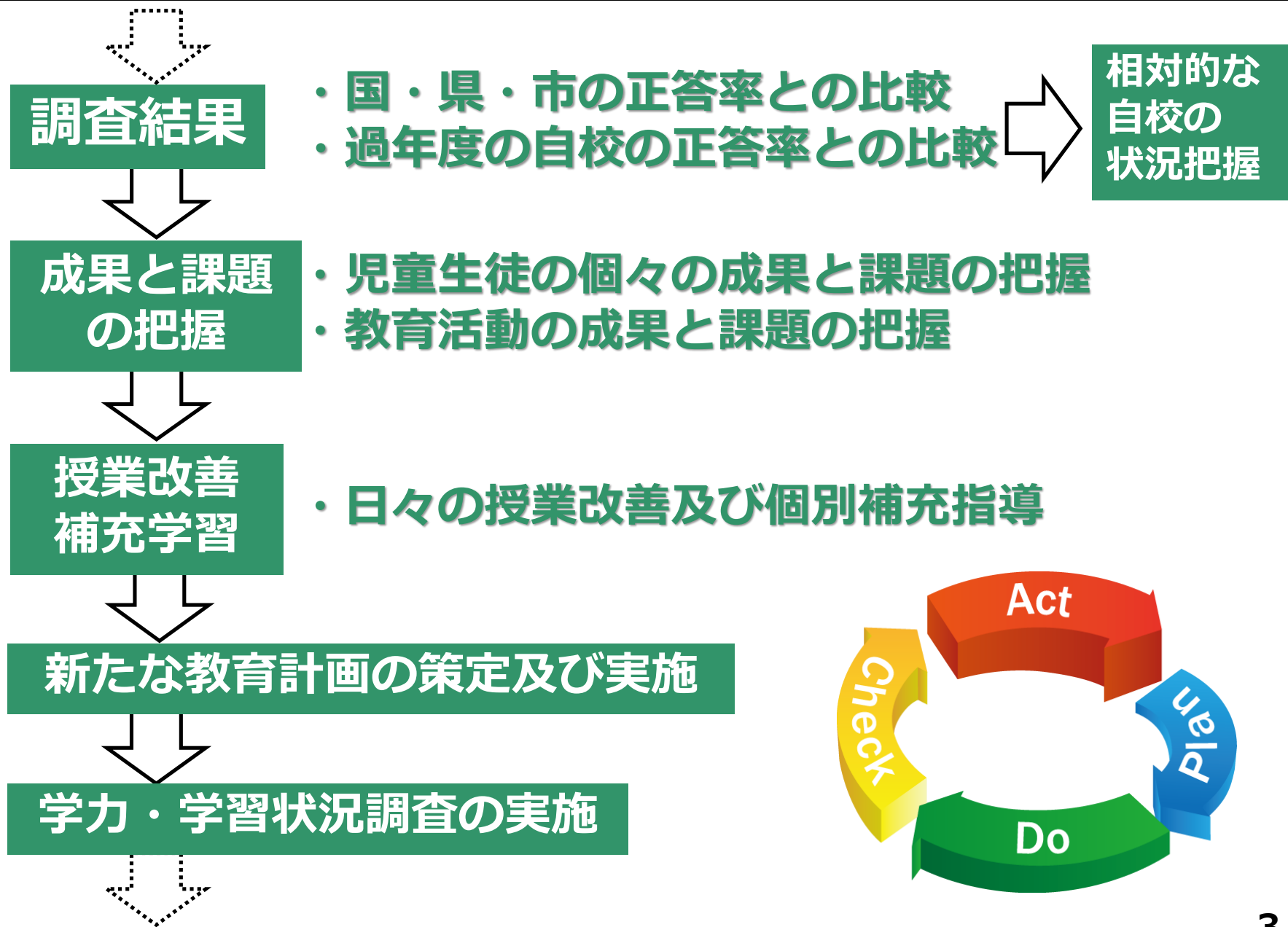


戸田市教育委員会

Contents

- 1 学力・学習状況調査結果の活用
- 2 調査の概要
- 3 教員の指導方法等に関する質問紙調査
- 4 教員の資質能力等に関する調査
- 5 分析結果の活用

1 学力・学習状況調査結果の活用

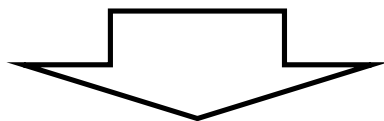


1 学力・学習状況調査結果の活用

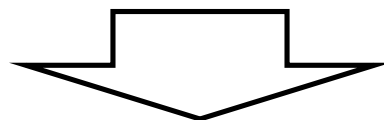
埼玉県学力・学習状況調査結果の活用

同じ児童生徒を追跡調査できる。〈パネル調査〉

一人一人の学力の伸びを把握できる。〈IRT〉



	県・市平均正答率との比較	児童生徒の学力の伸び	
A学級	低い	高い	成果あり
B学級	高い	低い	課題あり



どのような「教員の指導方法が」成果を上げたのか！
どのような「資質能力を備えた教員が」成果を上げたのか！

1 学力・学習状況調査結果の活用

どのような「指導方法が」「資質能力が」
成果を上げたのか！

「児童生徒の学力の伸び」と
「教員の指導方法や資質能力」
を関連付けて分析



＜研究協力＞
慶應義塾大学准教授
中室牧子先生

(学校・学級の実態に応じた) 効果的な指導方法等の明確化

エビデンスに基づく授業改善・教員研修の実施

1 学力・学習状況調査結果の活用

期待される主な効果的な指導方法等の明確化

- (1) **アクティブ・ラーニング**の指導の重点化の効果検証や、効果のある（ない）指導方法の検証
- (2) **協働的な学習**など、授業中の様々な取組の効果検証
- (3) **学習規律**の確立と学力との関係
- (4) **管理職の学力向上に対する意識**や教員の学校組織への**参画意識**と学力との関係
- (5) **学校のチーム力**が高く、雰囲気が良いことと学力との関係

2 調査の概要

H27県調査（4月）
小学校4～6年
国・算
中学校1～3年
国・数・英(2,3のみ)



一人一人の学力の伸び

H28県調査（4月）
小学校4～6年
国・算
中学校1～3年
国・数・英

関連付けて分析



- ・ 指導方法等に関する教員質問紙調査結果
 - ・ 教員の資質能力等に関する調査結果
- ※ 2つの調査とともに、全教職員悉皆調査として実施

3 教員の指導方法等に関する質問紙調査

- ・ 市内全小・中学校全教員を対象に実施

- ・ 主な調査内容

- ・ <担任学級等に関すること>

- ・ 担任学級及び担当教科

- ・ <指導方法等に関すること> (全62問、主に4件法、用紙)

- ・ ア 学校の運営体制について

- ・ イ 教員の協働体制について

- ・ ウ 授業の重点と課題について

- ・ エ 家庭学習への手立てについて

- ・ オ 学習形態について

- ・ カ 指導方法について

3 教員の指導方法等に関する質問紙調査

<指導方法等に関すること> (全62問、主に4件法、用紙記入)

ア 学校の運営体制について

(例) 校内で、**児童の学力について現状把握と分析を行う機会がありましたか。**

イ 教員の協働体制について

(例) 学校の**教育目標やその達成に向けた方策について、全教職員の間で共有し、取組に当たっていましたか。**

ウ 授業の重点と課題について

(例) 学力向上や学習の定着等のために、次の事項のうち**最も重視して取り組んだものを一つ選んでください。**
(板書・発問・ICT活用・ノート指導・話し合い活動)

3 教員の指導方法等に関する質問紙調査

<指導方法等に関すること> (全62問、主に4件法、用紙記入)

エ 家庭学習への手立てについて

(例) 家庭学習の課題(宿題)を計画的に与えましたか。

オ 学習形態について

(例) 習熟の遅い児童に対して、少人数による指導を行い、習得できるようにする指導を計画的に取り入れましたか。

カ 指導方法について

(例) 児童に理由を付けて考えを発表させたり、書かせたりする指導を行っていましたか。

授業や単元(小単元)のまとめの場面では、学習した内容をどのように活用できるかを児童に書かせましたか。

4 教員の資質能力等に関する調査

- ・ 市内全小・中学校全教員を対象に実施
- ・ 主な調査内容（全98問、5件法、CBT方式）
 - 1 教員経験等に関すること
 - ・ 性別 ・ 勤務年数（通算、現任校）
 - ・ 保有教員免許 ・ 臨時的任用教員経験
 - ・ 英語免許保有者の資格（英語検定、TOEIC等）
 - 2 主に資質能力に関すること
 - 3 主に指導方法に関すること

4 教員の資質能力等に関する調査

2 主に資質能力に関すること

- ・ 色々なことに**チャレンジ**するのが好きだ。
- ・ 困難があってもそれは人生にとって価値があるものだと思う。
- ・ 慣れないことをするのは好きではない。
- ・ 自分の**感情をコントロール**できるほうだ。
- ・ **粘り強い**人間だと思う。 等

3 主に指導方法に関すること

- ・ 学級やグループで**話し合う活動**を行っている。
- ・ 大型テレビなどを使って、**デジタル教科書**や教材を提示したり、**デジタルコンテンツ**を使ったりする授業をどの程度行っているか。 等

5 分析結果の活用について

1 各学校への情報提供

- ・ 教員の授業改善
- ・ 研修体制の充実

2 学校間ピアレビュー

- ・ 授業改善に向けた管理職や教員の意識改革
- ・ 効果的な取組の学校間での共有化

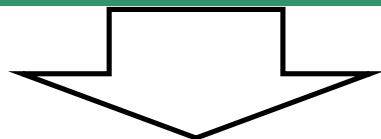
3 教員の授業力集中研修（メンター方式により）

- ・ 指導のルーブリックの作成・活用
 - ※育成したい資質能力ルーブリック（作成中）及び児童生徒自己評価ルーブリック（作成中）と関連

5 分析結果の活用について

<エビデンスに基づく教育活動の推進>

- ・ どのような学校運営・指導方法が、どのような成果に繋がるか。
- ・ 授業や校内研修体制をどのように改善すればよいか。



**効果的・効率的な研修による
自信をもった指導の実施**